

共有すべき事例

2012年3月 事例 1

〔内服薬調剤〕 薬剤取違えに関する事例

(事例番号：000000023923)

事 例

【事例の内容】

処方せんはカロナール錠200記載を取り違い、ザイロリック錠100を患者に交付した。自宅に持ち帰り、家族の方が気づき連絡があった。

【背景・要因】

カロナール錠200とザイロリック錠100のシート包装が似ており、錠剤棚の配置が隣合わせで取り間違いやすい場所にあった。

【薬局が考えた改善策】

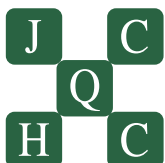
カロナール錠200とザイロリック錠100の錠剤棚の配置を変更した。

事 例 の ポ イ ン ト

- シート包装が類似している医薬品をピックアップし、業務手順書に記載することもひとつの方法である。さらに、その旨を薬剤師に周知し、医薬品棚の配置に関して取り間違えないように対策をすることは、有効であると思われる。

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

共有すべき事例

2012年3月 事例 2

〔内服薬調剤〕数量間違いに関する事例

(事例番号：000000023958)

事 例

【事例の内容】

普通錠であるところを調剤者が誤ってOD錠（口腔内崩壊錠）を調剤していることに鑑査時に気づいたため、調剤者に再度調剤を依頼したところ、一緒に処方されていた医薬品は定期の日数であったが、当該医薬品は余薬があるため日数が変更されていたが、ほかの定期薬と同じ日数で渡してしまった。

【背景・要因】

一つの事例に対し、複数の誤りがありその片方だけが先に正常化されたため、そこに気を取られて起こってしまったことと思われる。

【薬局が考えた改善策】

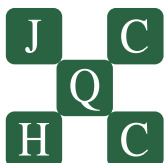
調剤時、鑑査時、再調剤時、再鑑査時、それぞれの機会において思い込みを防ぎ、確認を行うよう努める。

事 例 の ポ イ ン ト

- 普通錠とOD錠（口腔内崩壊錠）が存在する医薬品をピックアップして、業務手順書に記載し、薬局内で、取り間違い防止の周知をすることもひとつの方法である。
- 数量間違い防止のためには、①鑑査時、調剤をやり直した際は、さらに、②再調剤時や③再鑑査時の確認を徹底することが重要である。

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

共有すべき事例

2012年3月 事例3

〔内服薬調剤〕 薬剤取違えに関する事例

(事例番号：000000024020)

事 例

【事例の内容】

似た薬品名の取り違いによる事例だった。

【背景・要因】

未記載

【薬局が考えた改善策】

処方せんと医薬品名をきちんと確認して調剤をする。調剤した者以外のものが再度確認する。薬剤情報提供文書の情報との確認を必ず行う。

その他の情報

【処方された医薬品】

ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯エキス顆粒（医療用）

【間違えた医薬品】

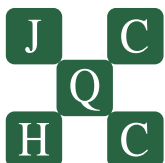
ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒（医療用）

事例のポイント

- 類似名称一覧を業務手順書に整理して記載し、職員に周知することもひとつの方法である。
- 漢方製剤のように類似した名称が存在する医薬品は、可能であれば、調剤した職員以外の職員が鑑査を行うことが望まれる。

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>